



ノベナ総合病院（シンガポール）

第63期

中間期 株主通信

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日

その先の向こうへ

GOING FURTHER

 五洋建設株式会社

証券コード：1893

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

ここに平成24年4月1日から平成24年9月30日までの平成24年度（第63期）第2四半期の事業概況ならびに今後の見通しにつきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

村重 芳雄

### Q 経営環境についてお聞かせください。

A 平成24年度第2四半期の日本経済は、東日本大震災からの復興関連需要等を背景に持ち直しの動きが見られたものの、欧州債務問題の深刻化や中国をはじめとした新興国の経済成長の減速など、依然として不透明な状況が続いています。

建設業界においては、復興需要により公共投資は増加し堅調に推移しています。住宅投資は回復基調にあるものの、民間設備投資は、先行きへの慎重な見方から動きが鈍化しており、加えて受注競争の激化、資材価格の高騰など、依然として厳しい経営環境が続いています。一方、海外は当社グループの主要市場である東南アジアにおいて、社会インフラ整備を中心に建設需要は堅調に推移しています。

### Q 第2四半期の連結業績についてお聞かせください。

A 売上高は、手持工事の順調な進捗により、前年同期比14.4%増加し1,661億円となりました。一方、利益面については、売上総利益の減少ならびに一般管理費の増加により、営業利益は、24億円（前年同期46億円）、経常利益は、20億円（前年同期40億円）と減益となりました。また、特別損失の増加等により、四半期純利益は、3億円（前年同期9億円）となりました。

### Q 東日本大震災の復旧・復興に対する取り組みについてお聞かせください。

A 当社グループは、東日本大震災により、被害にあった港湾・漁港等の復旧・復興に全力で

取り組んでまいりました。

復旧のための関連予算は今後も堅調に執行されることが見込まれるため、これまで培った技術を活かし、東日本大震災の復旧・復興にグループ全体で貢献してまいります。

※**港湾・漁港復旧工事への取組みにつきましては、P.3をご参照ください。**

## Q 今後の見通しについて お聞かせください。

A 国内では、公共事業予算は、厳しい財政状況ではありますが、震災関連の他、防災・減災対策、エネルギー・環境分野、国際競争力強化の施策に重点配分される見通しです。また、当社グループの強みを活かせる国際コンテナ戦略港湾プロジェクト等についても順次、予算が執行される見通しです。一方、民間事業については、徐々に回復することが期待されますが、欧州や中国など海外経済の動向に注意が必要な状況が続くと思われます。また、シンガポール、香港など東南アジアでは、インフラ

整備や医療施設の建設など、引き続き行われる見通しです。

平成24年度の連結業績見通しにつきましては、セグメント別での増減はあるものの、当初予想から変更はなく、売上高3,470億円、営業利益85億円、経常利益66億円、当期純利益17億円を予定しています。

個別の建設受注高につきましても、当初予想と変わらず、国内土木1,150億円、国内建築1,050億円、海外800億円、建設受注高合計3,000億円を予定しています。

また、平成24年度（平成25年3月期）の期末配当につきましては、1株当たり2円を予定しております。

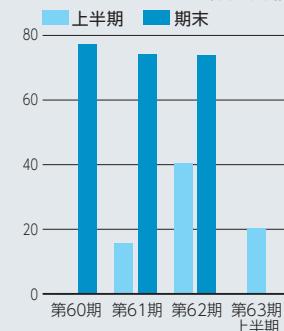
「臨海部ナンバーワン企業」として一層成長することを目指し、引き続きグループ一丸となって取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、これまで以上のご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

### 【連結業績の推移】

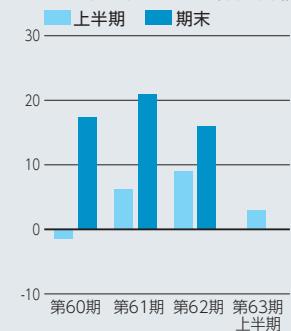
◎売上高 (単位:億円)



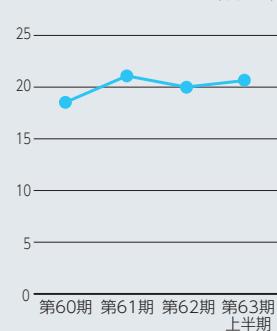
◎経常利益 (単位:億円)



◎四半期(当期)純利益 (単位:億円)



◎自己資本比率 (単位:%)



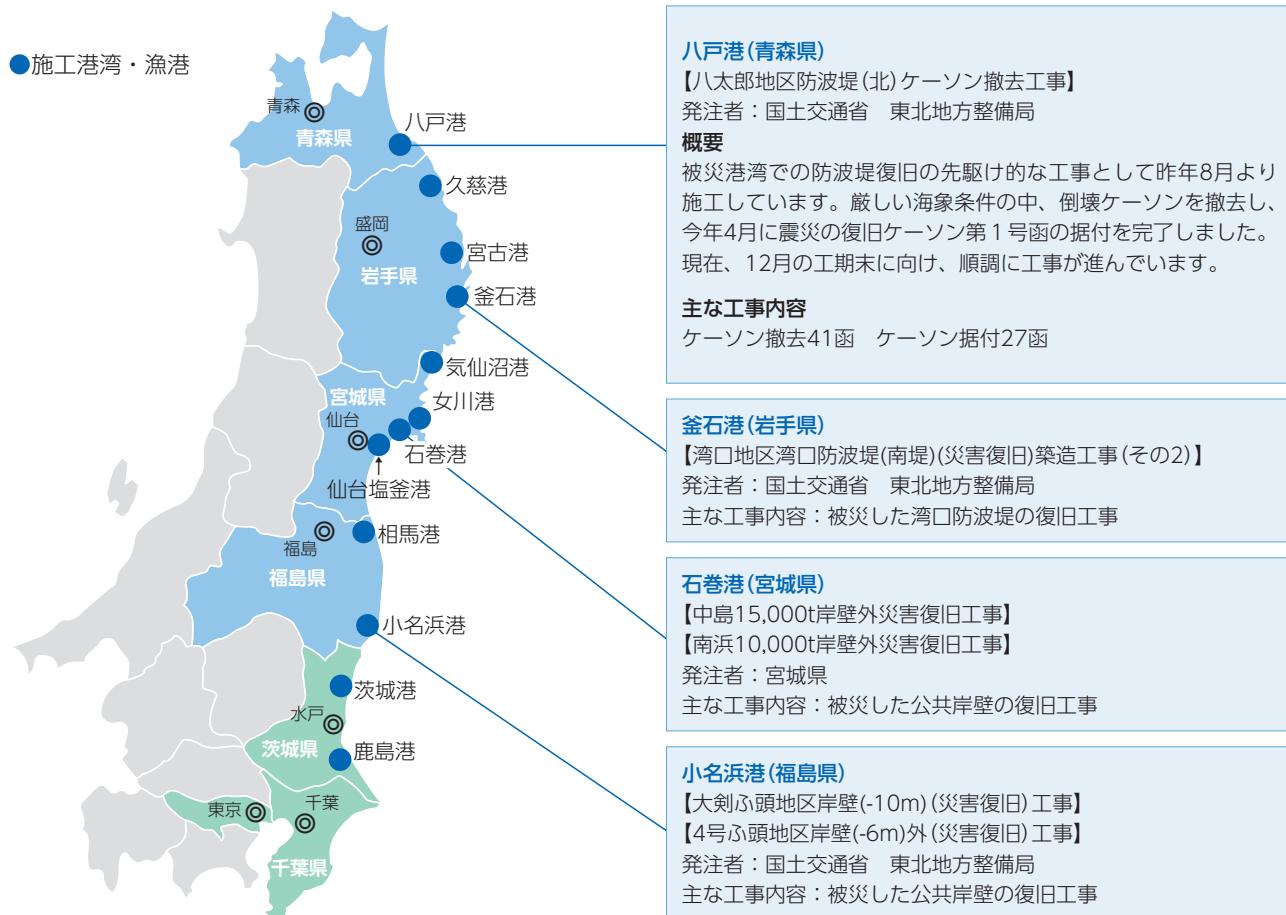
## 東日本大震災 港湾・漁港復旧工事への取組み

東日本大震災の発生から1年以上が経過し、被災した港湾・漁港の復旧は、国際拠点港湾である仙台塩釜港などで進んでいます。また、復旧のための予算は、2012年度以降も引き続き配分される見込みです。

現在までに、当社は下記の通り、太平洋側の主要な12港湾・漁港で復旧工事を施工しています。当地区では、釜石港の湾口防波堤をはじめ数多くの工事を過去に施工した実績があり、そのノウハウを最大限活用し、一日も早い復興に貢献できるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

### ■ 港湾・漁港復旧工事 位置図

【主な施工工事の概要】



## 大井町西地区再開発事業 完成

本再開発事業は、昔ながらの小規模住宅の密集地であった当地区を、街路拡幅整備事業に併せて再開発し、地区の再編・防災性の強化を実施したものです。

施工では、中間免震構造を導入し、地震時の耐震性の強化、建物の安全性の向上をはかることができました。

本再開発事業の完成により、当施設内の居住者、保育園などの施設利用者、近隣の方々に安心・安全な空間を提供することが期待されています。

### 【工事概要】

工事場所 東京都品川区大井1丁目  
工期 2009年12月～2012年9月  
主要用途 共同住宅・店舗・公益施設  
構造 鉄筋コンクリート造、中間免震建物  
地上28階 地下2階  
延床面積 32,600m<sup>2</sup>  
敷地面積 3,290m<sup>2</sup>

### ■中間免震構造



中間免震構造とは、建物の中間階に高減衰積層ゴム、オイルダンパーなどの免震装置を設置する構造です。(左図赤色部分)  
大地震の際、免震装置から上の階への地震力の伝達を減少させ、揺れ幅を低減し、建物全体の耐震性を大幅に高めることができます。



高減衰積層ゴム



オイルダンパー



## シンガポール 大型総合病院完成 (MOUNT ELIZABETH NOVENA HOSPITAL)

2012年7月1日より、シンガポール中心部にほど近い場所で、ノベナ総合病院が開院しました。当病院の発注者であるパークウェーホールディングス社は、シンガポールを中心に5カ国・16カ所の総合病院を経営するシンガポール最大手の医療事業者です。

現在、シンガポールは医療ツーリズムの誘致に注力しています。最新鋭の医療設備を完備することで、世界中から医療目的の訪問者を受け入れる体制を整えています。

当社は、現在シンガポールで2件の病院の建設工事を施工しており、今後もシンガポールの医療施設の整備に貢献してまいります。

### 【病院概要】

場 所 地下鉄MRT ノベナ駅  
病 床 数 312床(全室個室型)  
手 術 室 13室  
集中治療室 40室  
延 床 面 積 73,800m<sup>2</sup>



### ■ノベナ総合病院の紹介

ノベナ総合病院は、最新鋭の医療設備、医療スタッフと、312床全てが個室型の格調高い病室を備えた最先端の医療施設を提供することで、医療分野の新境地開拓を目指しています。

施設内には多くの工夫と趣向が施されており、屋上にある空中庭園の豊かな緑、採光に優れた窓から注ぎ込む暖かい光が患者に快適な環境を提供します。最先端の医療機器、医療スタッフの献身的な治療・看護とあわせて、患者が最高級の医療を享受することができます。

また、当病院は太陽光発電システムの導入など、環境に配慮した設計がシンガポール建設省より高く評価され、「プラチナムグリーンマーク賞」を受賞しています。



エントランスロビー



採光に優れた明るい病室

## 五洋建設 本社ビル別館完成 (ZEB化への取組み)

2012年5月、当社の本社ビル敷地内に、「環境に配慮した新たなオフィスビル」が完成しました。

当ビルには、低炭素化社会に向けた取組みとして、数多くの省エネ技術を導入しています。また、「環境・エネルギーモニタリングシステム」を導入し、実測データの収集、有効性の確認を実施しています。

現在、ビルのエネルギー消費量をゼロにするZEB化 (Zero Energy Building) への取組みが注目されています。今後、新築のオフィスビルでは、環境に優しく、コスト削減も可能な省エネ技術導入のニーズが高まると予想されます。

当社は、当ビルで導入した技術の効果検証に基づき、省エネ化ビルの提案に活用したいと考えております。

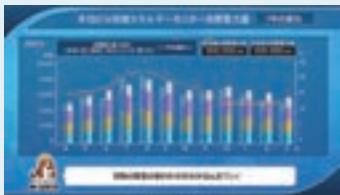


### ■主な省エネ・環境配慮技術



### ■モニタリングシステム、省エネ型照明の紹介

**環境・エネルギーモニタリングシステム**  
エネルギーの「見える化」により、省エネ活動の啓蒙をはかります。



#### 有機EL照明をオフィスビルで初適用

「面で光る」「薄くて軽い」「発熱が少ない」「発光色を自由に調整できる」など優れた特徴を持つ有機EL照明をオフィスビルで初めて採用しました。次世代照明の主役として、今後の普及が期待されます。



エントランス (天井)



有機EL光源照明パネル

# >>> 連結財務諸表

## ●四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)	科 目	前期末 (平成24年3月31日現在)	当第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
<b>(資産の部)</b>	<b>311,917</b>	<b>295,265</b>	<b>(負債の部)</b>	<b>249,531</b>	<b>234,065</b>
流動資産	221,526	201,373	流動負債	205,997	187,649
現金預金	63,370	57,064	支払手形・工事未払金等	112,842	101,501
受取手形・完成工事未収入金等	118,610	105,497	短期借入金	45,687	43,339
未成工事支出金等	12,992	12,403	未払法人税等	1,179	970
たな卸不動産	11,041	9,900	未成工事受入金等	25,329	21,431
未収入金	10,607	9,646	引当金	4,805	4,175
その他	6,131	7,618	その他	16,153	16,231
貸倒引当金	△1,227	△756	固定負債	43,533	46,415
固定資産	90,390	93,891	社債	10,000	10,000
有形固定資産	68,507	72,660	長期借入金	25,483	28,405
土地	43,612	43,465	再評価に係る繰延税金負債	6,251	6,195
その他(純額)	24,894	29,194	引当金	811	853
無形固定資産	636	800	その他	987	960
投資その他の資産	21,246	20,430	<b>(純資産の部)</b>	<b>62,385</b>	<b>61,200</b>
投資有価証券	10,822	10,393	株主資本	56,266	56,086
その他	16,661	16,459	資本金	30,449	30,449
貸倒引当金	△6,237	△6,423	資本剰余金	18,386	18,386
<b>1 資産合計</b>	<b>311,917</b>	<b>295,265</b>	利益剰余金	7,453	7,273
			自己株式	△23	△23
			その他の包括利益累計額	6,115	5,104
			その他有価証券評価差額金	△107	△1,046
			繰延ヘッジ損益	△9	△0
			土地再評価差額金	6,194	6,098
			為替換算調整勘定	36	52
			少数株主持分	3	9
			<b>負債純資産合計</b>	<b>311,917</b>	<b>295,265</b>

### 1 総資産

設備投資により有形固定資産は増加しましたが、現金預金及び受取手形・完成工事未収入金等の減少などにより、総資産は前期末に比べ166億円減少しました。

### 2 有利子負債

当第2四半期末で817億円となりました。中期経営計画の最終年度(2013年度)の目標672億円に向けて、引き続き削減に取り組んでまいります。

### ●四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
<b>3 売上高</b>	<b>145,289</b>	<b>166,139</b>
完成工事高	138,800	161,324
開発事業等売上高	6,489	4,814
売上原価	133,422	156,285
完成工事原価	127,437	151,070
開発事業等売上原価	5,985	5,214
売上総利益	11,866	9,853
完成工事総利益	11,363	10,253
開発事業等総利益又は総損失(△)	503	△399
販売費及び一般管理費	7,233	7,410
<b>4 営業利益</b>	<b>4,633</b>	<b>2,443</b>
営業外収益	655	855
営業外費用	1,240	1,268
経常利益	<b>4,048</b>	<b>2,030</b>
特別利益	73	27
特別損失	435	830
税金等調整前四半期純利益	3,685	1,227
法人税、住民税及び事業税	1,029	422
法人税等調整額	1,752	504
少数株主損益調整前四半期純利益	903	301
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	6
<b>5 四半期純利益</b>	<b>906</b>	<b>295</b>

### 3 売上高

国内土木、国内建築、海外ともに手持工事の順調な進捗により、売上高は前年同期に比べ14.4%増加し、1,661億円となりました。

### 4 営業利益

売上総利益の減少ならびに販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は21億円減少し、24億円となりました。

### 5 四半期純利益

前年同期と比べて6億円減少し3億円となりましたが、第2四半期では3期連続で黒字となりました。

### ●四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	当第2四半期 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
<b>6 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>9,294</b>	<b>1,524</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,494	△7,417
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,333	△140
現金及び現金同等物に係る換算差額	167	△173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	9,300	△6,207
現金及び現金同等物の期首残高	45,662	62,712
現金及び現金同等物の四半期末残高	<b>54,963</b>	<b>56,505</b>

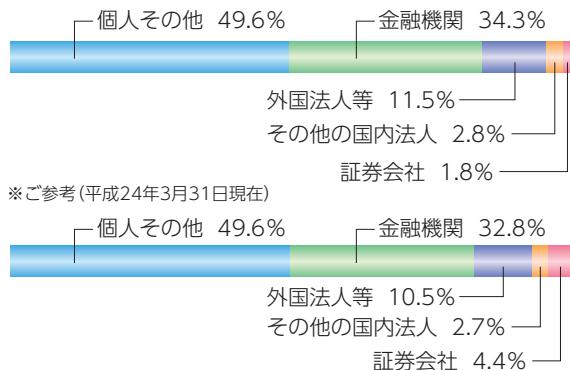
### 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益12億円を計上したことなどにより15億円の収入超過となりました。

## 株式の状況

発行可能株式総数…………… 599,135,000株  
 発行済株式の総数…………… 286,013,910株  
 株主数…………… 47,079名

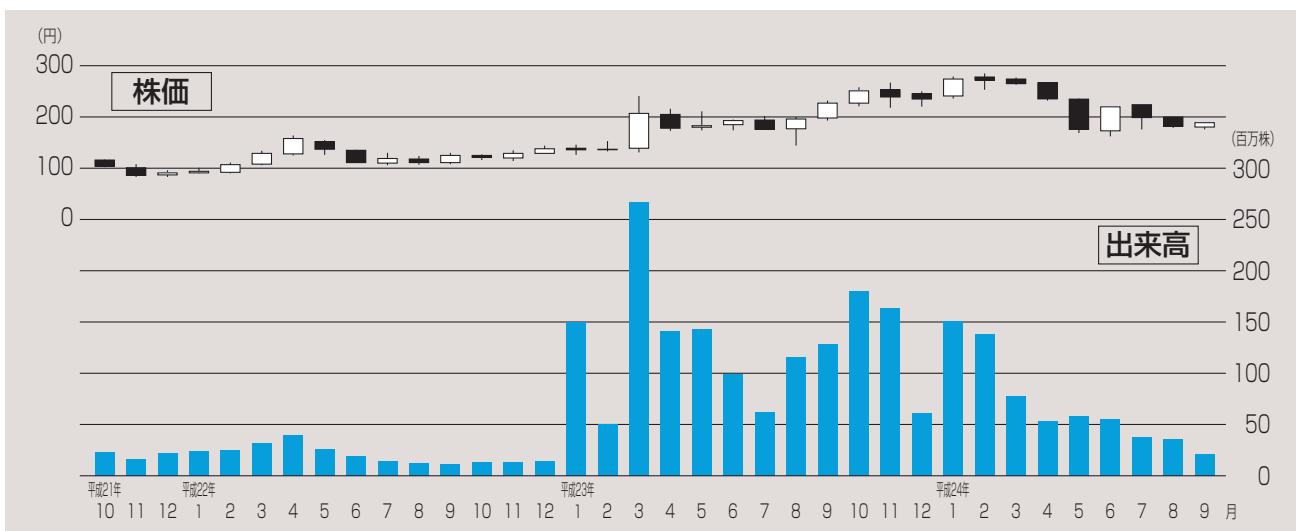
## 所有者別分布状況 (株式数)



## 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	20,071	7.0
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社 (信託口)	16,111	5.6
株式会社みずほコーポレート銀行	7,059	2.5
明治安田生命保険相互会社	6,656	2.3
ジュニパー	6,287	2.2
株式会社損害保険ジャパン	6,113	2.1
東京海上日動火災保険株式会社	3,934	1.4
五洋建設従業員持株会	3,500	1.2
みずほ信託銀行株式会社	3,470	1.2
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口1)	2,770	1.0

## 株価および出来高の推移状況



## 会社概要

商号	五洋建設株式会社 PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO., LTD.
設立	昭和25年4月28日
資本金	30,449,952,150円
従業員数	2,443人
上場証券取引所	東京・名古屋証券取引所
会計監査人	新日本有限責任監査法人
主な事業概要	当社は建設業法により特定建設業者（特-24）第1150号として国土交通大臣の許可を受け、土木・建築ならびにこれらに関連する事業を行っております。また、宅地建物取引業法により宅地建物取引業者（12）第1635号として国土交通大臣の許可を受け、不動産に関する事業を行っております。

## 主要事業所

本店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3816-7111
札幌支店	060-0005	北海道札幌市中央区北5条西2-5 JRタワーオフィスプラザさっぽろ10F	011-281-5411
東北支店	980-8605	宮城県仙台市青葉区二日町16-20 二日町ホームプラザビル2F	022-221-0932
北陸支店	950-8501	新潟県新潟市中央区東大通1-2-25 北越第一ビルディング5F	025-246-1381
東京土木支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-8890
東京建築支店	112-8576	東京都文京区後楽2-2-8	03-3817-7600
名古屋支店	460-8614	愛知県名古屋市中区錦3-2-1信愛ビル4F	052-961-6234
大阪支店	530-0012	大阪府大阪市北区芝田2-7-18 オーエックス梅田ビル新館4F	06-6486-2100
中国支店	730-8542	広島県広島市中区上八丁堀4-1 アーバンビュースタンドタワー7F	082-511-7900
四国支店	790-0011	愛媛県松山市千舟町4-4-3松山Mビル7F	089-935-5755
九州支店	812-8614	福岡県福岡市博多区博多駅南1-3-11 KDX博多南ビル3F	092-475-5000
技術研究所	329-2746	栃木県那須塩原市四区町1534-1	0287-39-2100

## 海外営業所

シンガポール営業所	マレーシア営業所
香港営業所	エジプト営業所
インドネシア営業所	ベトナム営業所

## 取締役

代表取締役社長	村重 芳雄
代表取締役	津田 映
取締役	井田 潔志
取締役	近藤 浩右
取締役	山下 純男
取締役	佐々木 邦彦
取締役	柿本 泰二
取締役	清水 琢三
取締役	中満 祐二
取締役 (社外取締役)	小原 久典

## 監査役

常勤監査役	俵 輝美
常勤監査役 (社外監査役)	樋口 達士
常勤監査役 (社外監査役)	福田 博長
監査役 (社外監査役)	亀山 和則

## 執行役員

※ 執行役員社長	村重 芳雄	営業担当(兼)安全品質環境担当(兼)総合監査部担当
※ 執行役員副社長	津田 映	営業担当(兼)安全品質環境担当
※ 執行役員副社長	井田 潔志	営業担当(兼)安全品質環境担当
※ 専務執行役員	近藤 浩右	土木部門長(兼)技術研究所担当(兼)2020事業室担当(兼)技術戦略室長
専務執行役員	岡部 憲一	土木部門担当(兼)総合評価担当
専務執行役員	原田 泰明	土木部門担当
※ 専務執行役員	山下 純男	建築部門長(兼)建築部門建築営業本部長(兼)購買部担当
※ 専務執行役員	佐々木 邦彦	経営管理本部長(兼)CSR推進室長
常務執行役員	中 伸好	建築部門担当
常務執行役員	高野 一男	土木部門担当
常務執行役員	河内 政巴	土木部門土木本部長(兼)安全品質環境担当
常務執行役員	伊藤 峰夫	土木部門担当
※ 常務執行役員	柿本 泰二	国際事業本部長
常務執行役員	都甲 明彦	国際事業本部副本部長(兼)シンガポール営業所長
常務執行役員	北川 隆	土木部門担当
常務執行役員	中山 信也	建築部門都市開発本部長(兼)建築部門建築営業本部副本部長
常務執行役員	長 富理	中国支店長
常務執行役員	柳田 良一	東北支店長
※ 常務執行役員	清水 琢三	土木部門土木営業本部長
常務執行役員	宮園 猛	東京建築支店長
執行役員	西村 清和	東京建築支店副支店長
執行役員	中澤 貴志	大阪支店長
執行役員	小林 義和	建築部門担当
執行役員	坪崎 裕幸	建築部門担当(技術担当)
執行役員	清水 豊和	建築部門担当
執行役員	下石 誠	九州支店長
執行役員	村山 正純	土木部門担当
執行役員	越智 修	東京土木支店長
※ 執行役員	中満 祐二	建築部門建築本部長(兼)安全品質環境担当
執行役員	植田 和哉	土木部門土木営業本部副本部長(兼)2020事業室長 (兼)土木部門土木2020事業部長
執行役員	岡田 富士夫	国際事業本部副本部長
執行役員	田原 良二	東京建築支店副支店長
執行役員	野口 哲史	名古屋支店長
執行役員	蒔田 高之	安全品質環境本部長
執行役員	福田 幸司	土木部門担当

※印は取締役兼務者です。

## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催  
単元株式数 500株  
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
みずほ信託銀行株式会社  
本店証券代行部

公告方法 電子公告にて当社のホームページ (<http://www.penta-ocean.co.jp/>) に掲載いたします。ただし、やむをえない理由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。  
剰余金の配当の基準日 毎年3月31日  
証券コード 1893  
なお、中間配当制度は採用していません。

### 【単元未満株式の買取制度について】

単元未満株式とは、1単元（500株）に満たない1株から499株までの株式のことです。これらは株式市場で売買することができませんが、当社に対して買取請求をすることができます。

お手続き方法および用紙のご請求は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にお申し出ください。

#### ■（例）株主様が単元未満株式250株をご所有の場合



#### ■手数料の無料化について

従来、当社は単元未満株式の買取にあたり、株主様から一定の手数料をいただいていたのですが、2009年1月より無料化いたしました。

### 【特別口座から一般口座への振替手続きについて】

特別口座に記録されている株式を株式市場で売却すること、および特別口座から株式市場を通じて新たに株式を購入することはできません。

株式を株式市場で売買するためには、特別口座から一般口座への振替手続きを行う必要があります。

お手続きの詳細は、みずほ信託銀行株式会社（右記電話お問い合わせ先）にご確認ください。

#### ■振替手続き手順



### 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

#### 〈証券会社でお取引をされている株主様〉

■郵便物送付先・電話お問い合わせ先  
お取引のある証券会社になります。

#### 〈特別口座に記録されている株主様〉

■郵便物送付先  
〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4  
■電話お問い合わせ先（フリーダイヤル）

**0120-288-324**

■お取扱店  
みずほ信託銀行株式会社  
全国本支店（トラストラウンジを除く）  
みずほインベスターズ証券株式会社  
全国本支店(\*)

(\*)2013年1月4日以降合併により、みずほ証券株式会社全国本支店・営業所となります。

※未払配当金のお支払、支払明細発行につきましては、両株主様ともに上記の「特別口座に記録されている株主様」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。

なお、未払配当金のお支払（配当金領収証をお持ちの場合）につきましては、株式会社みずほ銀行 全国本支店でもご利用いただけます。

その先の向こうへ

GOING FURTHER



**五洋建設**  
PENTA-OCEAN CONSTRUCTION

〒112-8576 東京都文京区後楽2-2-8

**UD FONT**

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



GREEN PRINTING JPPI  
P-A10007

グリーンプリンティング認定制度を  
取得している工場で印刷しています。



ミックス  
責任ある木質資源を  
使用した紙  
FSC® C022915

環境保全のため、FSC® 認証紙と植物油インキを  
使用して印刷しています。

